



すたが

苅田町青少年育成町民会議だより



家庭部会シンポジウムを開催

土曜日をゆとりと
ふれあいの日に

小中学生と保護者が意見発表

二月二十五日、西部公民館で
第四回家庭部会シンポジウムを
開きました。

参加者はPTAや小中学生な
ど約二百五十人。「子と親の願う
もの」土曜日をゆとりとふれ
あいの日に」をテーマに、学
校週休二日制について考えまし
た。

意見発表者の小学生六人と中
学生二人そして保護者二人が、
土曜日の過ごし方を披露。「本を
読んだり、友達と楽しく過ごし
ている」「二日間あると、遊びの
日と勉強の日にあてることがで
き、生活にゆとりができた」「中
学生の子どもにサイクリングで
別府に行かせた」などと話しま
した。

その後、小松憲道新津中学校
教頭の助言をいただき、シンポ
ジウムに参加したみなさんも熱
心に聞き入っていました。

なお、意見発表者は次の方で
す。(敬称略)

▼森里枝子(苅田小6年) ▼坪
井美沙子(馬場小6年) ▼小川
寿樹(南原小6年) ▼門脇沙矢
香(与原小6年) ▼森下奈津江
(片島小6年) ▼中村美加(白川
小6年) ▼森聡司(苅田中2年)
▼荒石直子(新津中2年) ▼永
田善昭(苅田中保護者) ▼後藤
幸寿(白川小保護者)

第6回 風揚げカーニバル

一月二十一日、向山公園で第六回風揚げカーニバルが開かれ、親子連れなど約二百人が参加しました。

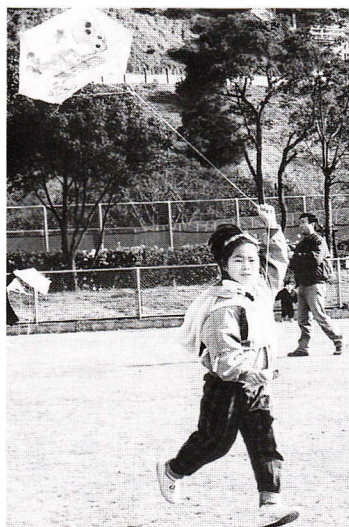
競技前半は風が弱く、参加者のみなさんは走り回るなどして

悪戦苦闘の様子。風が出てきてからは、手づくりのやつこ風や連風、市販の風などが、向山公園の空いっぱいにあがりました。今年も北九州鳥風愛好会のご協力で風の病院を開設。落ちて

壊れた風の補修や、うまくあがらない風の診断をしていただきました。また、会場横では蒔田レクリエーション協会のみなさんが、ボランティアでぜんざいを振る舞い、参加者が冷えた体をあたためていました。

風揚げカーニバル入賞者は次のとおりです。(敬称略)

▼より高くの部 良川綾佳、大渡務、宇田川亮太▼風揚げエンジョイの部 原秀敏、曾根渉、宮廻賢治▼ホットコミュニケーションの部 島田智恵子、山口廣明、花岡和樹▼独創性の部 高山遥、渡辺千里、柿本泰志▼ファイト一発の部 良川貴寿、川野由加里、山下真由美▼芸術性の部 片山優子、徳丸洋平、門上信子▼特別賞 山口金三(若久若い風の会)



風と遊んだよ



ふれあい インタビュー

②



▲菊田サッカースポーツ少年団のみなさん

今回は菊田サッカースポーツ少年団監督の辛島康雄さんにお話しをお伺いしました。

①団発足の経緯は

私たちのスポーツ少年団は町内六校の小学生1年生以上を対象に、昭和59年9月に結成し、今年で16年目を迎えます。

動機はサッカーというスポーツを通じて「心身の鍛練」と「社会生活に必要な礼儀、節度」を養う事を目的として指導をはじめました。

現在は馬場小学校下の町サッカー場をホームグラウンドとして、団員45名と指導者3名で毎週火・水・木曜日の夕方5時から7時と、土曜日の昼2時から5時まで高学年と低学年にわかれて練習をしています。

②練習内容は

ストレッチ、ランニング、ボールリフティング、ドリブル、トラップ、パス、キック、ヘディングなどの基礎練習後、フォーメーションゲームなどをします。ただ、子どもたちが町内全域から一箇所に集まり練習を行うので、全員の足並みが揃わず、苦い思いをしたこともありましたが、子どもたちが一生懸命にペダルを踏んで一刻も早くグラウンドに着こうとする姿に出会うと指導に熱が入り時間オー

バーすることもしばしばです。

また、サッカーの外に親と子と指導者のふれあいの場として野球大会や、キャンプ、魚釣り大会などを行っています。

③今後の抱負は

今後も礼儀正しく、団結する心、もっと上手になりたいという向上心を引き出し、スポーツを通しての喜怒哀楽を共に味わい、思いやりのある逞しい夢のある子どもたちに育てていきたいと思っています。

菊田町スポーツ少年団の主な実績

- (平成2年度) 全国少年サッカー福岡県大会出場
- (平成4年度) さわやか杯福岡県大会出場3位 (平成5年度) さわやか杯福岡県大会出場ベスト8
- 西日本スポーツ少年団交流大会優勝 (平成6年度) さわやか杯福岡県大会出場ベスト8
- 西日本スポーツ少年団交流大会準優勝

青少年健全育成ポスター

〔三年連続県知事賞受賞〕

福岡県子ども合連会主催による健全育成ポスターコンクールに町内の各小・中学校を通じて募集したところ約六百人の応募がありました。県の選考の結果入賞者は昨年を上回る二十八名でした。(敬称略)

▽福岡県知事賞

森川 あゆみ(与原本4年)

▽福岡県教育委員会賞

江川 陽子(馬場小5年)

▽福岡県子ども会会長賞

荒名 直子(新津中2年)

▽銀賞

實藤 佳奈(新津中2年)

中園 綾(片島小5年)

▽銅賞

田中 慶美(新津中2年)

岸本 麻由美(与原本4年)

片山 拓也(与原本4年)

▽佳作

渡辺 千里(与原本4年)

迫田 篤(与原本4年)

鳥越 友希江(与原本5年)

市川 真奈美(与原本4年)

青木 真紀(与原本4年)

井上 真依(与原本4年)

海東 早生利(新津中2年)

大川 修一(新津中1年)

吉田 和美(新津中2年)

中安 真知代(新津中2年)

稲田 佳奈子(新津中2年)

山本 鉄朗(新津中1年)

林 睦弓(新津中2年)

前田 季実子(新津中1年)

岸上 雄一郎(新津中1年)

西本 瑞恵(新津中2年)

二本 沙也佳(新津中2年)

和田 幸恵(新津中1年)

潮田 恭平(新津中2年)

仲原 富美(新津中2年)

以上の方々は、3月31日(日)に篠栗町の社会教育総合センターにて授賞式が行われます。

Q

いま、「いじめ」が大きな社会問題としてクローズアップされています。

よく、子どもたちからの「いじめ」のサインを見逃さないようにといわれますが、家庭でわかる子どもたちからの「いじめ」のサインについて教えてください。

A

子どもは、いじめについてなかなか口を開いてくれないものです。日頃から対話やふれあいを通して SOS のサインを見逃さないように心がけてください。

福岡県青少年健全育成推進本部では、家庭でわかる「いじめ」のサインを次のように発表しています。

福岡県では、平成8年度いじめ・体罰をなくす県民運動を展開します。荏田町青少年育成町民会議でも、いじめ、体罰をなくす草の根運動を推進することを平成8年度の重点目標にする予定にしております。

学校と家庭と地域が一体となっていじめ解消のために取り組みましょう。

みんなで育てよう 青少年

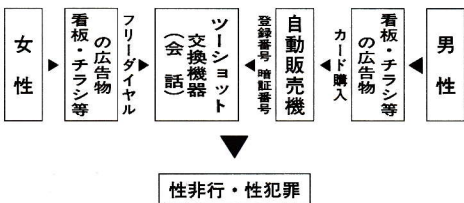
青少年にとって有害な雑誌。ビデオテープなどの図書類や青少年を性犯罪に巻き込むおそれのある「ツーショットダイヤル」等の営業を規制するため福岡県青少年健全育成条例が改正されました。

- ①福岡県の青少年の健全育成にあたっての基本理念をうたい込んだ前文が設けられました。
- ②「図書類」の定義に、コンパクトディスクやCDロム、フロッピーディスクなどの新しいメディアが加えられました。
- ③青少年にツーショットダイヤル等営業を利用させないため、ツーショットダイヤル等営業が規制されました。
- ④書店やコンビニエンスストアでの成人コーナー等の設置や自動販売機・自動貸出機による図書類等の販売等の届出が義務づけられ、学校や図書館等の周囲200メートル以内の区域での自動販売機等への青少年に有害な図書類等の収納は禁止されました。
- ⑤カラオケボックスやツーショットダイヤル等など条例で定められた営業は、青少年の健全な育成のため、自主規制の協定や規約を設定・締結するよう努めなければなりません。
- ⑥いれずみを青少年に入れることなどが禁止されました。

改正条例は平成8年4月から施行されます。

ツーショットダイヤルとは...

街頭の自動販売機で専用のカードを購入したり、業者指定の銀行口座にお金を振り込むことによって入手した暗証番号に男性がダイヤルし、フリーダイヤルで電話してきた不特定の女性と会話が出来るシステム。



家庭でわかる「いじめ」のサイン

- 家庭からよく金品が紛失する。
- 学用品が無くなったり、壊されたり、落書きされたりする。
- 体に理由のはっきりしない傷やアザができる。
- 学習意欲がなくなり、成績が落ちる。
- 急にふさぎ込んだり、怒ったりと感情が不安定になる。
- 口数が減り閉じこもりがちになる。
- 不快なあだ名をつけられている。
- 不審な電話が多くなり、表情が暗くなり、ため息をついたりする。

子どものことで困ったら 436-1152



●相談日時 毎週月・水・木・金曜(祝祭日を除く)午前9時～午後4時30分

※相談は電話相談、面接相談のどちらでも受け付けます。

※秘密は固く守ります。

青少年教育相談室(三原文化会館内)

編集後記

町民会議すこやか編集委員会では、「ふれあいインタビュー」で紹介する青少年育成団体や地域活動を行っている団体等を募集しています。ご希望があればどしどしご応募ください。

またみなさんからのご意見をお聞かせください。

編集・発行

荏田町青少年育成町民会議

総務部会すこやか編集

☎ 434-1111 内線 341